

事業報告書

団体名： SYK 重利夢工房

1. メニュー名	申請メニューにチェック☑をしてください。 ☑スタート事業 ☐ステップアップ事業 ☐市民連携事業			
2. 事業名	学生ボランティアによる癒しの森づくり			
3. 対象	事業の対象となった地域や地域住民を記入してください。 曾我部町重利山ノ下エリア、周辺地域住民（先端科学大学の学生を含む）			
4. 期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和4年4月1日～令和5年3月31日までです。 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日			
5. 地域課題・事業目的	支援金申請書に記入した、地域課題・事業目的を改めて記入してください。 課題 里山の安全と自然保護の目的で2016年より活動してきた「重利の山を守る会」という団体が会員の高齢化に伴い、活動の継続が難しい状況になりました。これまで続けてきた山の手入れを怠ると、整備してきた山がすぐに荒廃した山林に変化してしまいます。そうすると、大雨や台風が来た時に倒木や土砂災害が起こり、住宅地に危険が及んでしまいます。 また、重利の地域の少子高齢化も課題となっています。 事業の目的 「重利の山を守る会」が活動してきた重利の山の保全と自然・景観保護の活動を引き継ぎ、誰もが気軽に散策できる美しい里山を目指し事業を行います。 間伐材を活用してツリーハウスや遊具など子供たちの遊び場をすることで、地域全体で山の管理をしながら子供たちを見守ることができる場を作り、子育て世代にとっても住みやすい地域づくりを目指します。 また、周辺地域住民によびかけイベントを行うことで賑わいを創出し、地域の活性化に貢献します。			
6. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。 (実施日、場所、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)			
実施日	場所	内容	講師名	参加者
5月8日	重利の山	山の清掃		12名 学生、会員共同作業
6月12日		チェンソー講習	渋谷菜津子氏	10名
6月26日		ツリーハウス階段		10名
7月17日		ツリーハウス基礎		11名
7月24日		木工教室	長瀬清澄 吉川修二	2組 コロナ禍で参加者減少
9月18日		ツリーハウス根田創り(床板を張るための横木創り) 15名		

9月24日	リラハピのイベント	22名	山の会員、学生、リラハピの家族、地域の人と交流
11月23日	ツリーハウス床板張り	8名	
11月6日	ツリーハウス仮完成交流会	14名	
12月4日	ツリーハウス手摺制作	8名	
1月22日	桜、カエデ植樹、ツリーハウス周辺整備	7名	
7. 成果と課題	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を下記の①～③ごとに記入してください。		
① 実施結果数値（6.で記入した事業の回数や参加者数などをまとめてご記入ください） 山の整備、ツリーハウス創り 9回実施 延べ参加者 95名 木工教室参加者 親子2組 コロナの影響もあり、例年と比べて参加者は少なかったです。 子育てグループ【リラハピ】の森の観察会 参加者 22名 ② 事業による変化・成果目標（課題解決にどのような効果があったのか） ・ツリーハウスを完成させることができた。（間伐が手つかずの場所に設置することで遊歩道が整備され山全体に光が届くようになりました） ・ツリーハウスづくりを通して、会員と地域住民、若い世代の交流を行い、事業に関わる人達との関係を深められた。また、若い世代が山について学び、工具の使用方を身に付けられた。 ・山の整備活動を通して、自然や山についての知識を深めることができた ・新規の学生ボランティアが8名活動に参加してくれた ・京都西レオクラブが昨年度に引き続き、ボランティアとして活動に参加してくれた ③ 事業を実施しての課題 ・次年度の活動を行うために新規の学生ボランティアを SYK 重利夢工房の活動に参加してもらえるよう大学のゼミ教授に交渉中。 ・亀岡市内外に活動を知ってもらえるようInstagramの内容を充実していく必要がある。 ・SYK 重利夢工房の山での活動を行うために資金獲得方法を模索する必要がある。			
8. 協働の効果	今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。		
リラハピの活動で重利の山を利用して頂き、亀岡の子供たちに自然と触れ合う機会やピザ窯でピザを作る機会を提供できた。今後も活動で利用して頂きたい。			
9. 今後の展開	事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。		
	実施内容	資金獲得方法（助成金・寄附金）	
2年目	山の環境整備 学生ボランティアの募集 間伐材を有効利用する方法の模索	支援金、寄付金、会費 ふるさと納税販売	

3年目	山の環境整備 学生ボランティアと協働で事業を進めるよう計画する	支援金、寄付金、会費 ふるさと納税販売
10. SDG s への取組	SDGs（持続可能な開発目標）は「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2030年までに達成すべき17のゴール（目標）と169のターゲット（具体的目標）から構成されています。 <u>今回実施された事業によって取り組めたゴールの番号と内容をご記入ください。</u>	
番号	取組の内容	
11、15	里山の環境整備活動を通して、住み続けられるまちづくりへわずかながら貢献できた	

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

2023 年度 活動記録写真

遊歩道の整備



交流会（ピザ窯でピザづくり）



木の伐採（間伐）



【リラハピ】の森の観察会



サクラ、カエデの植樹



2023 年度 活動記録写真

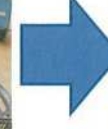
ツリーハウスづくり



木の伐採

木の皮むき

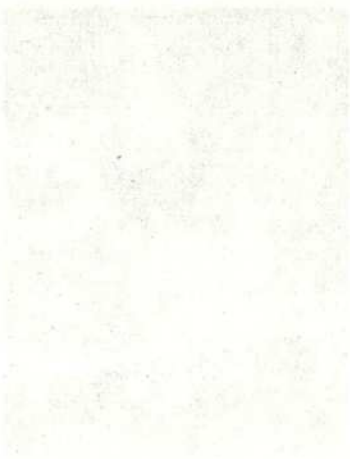
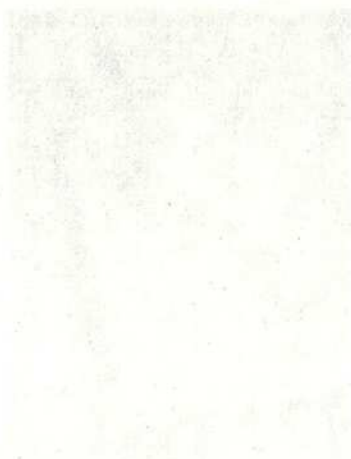
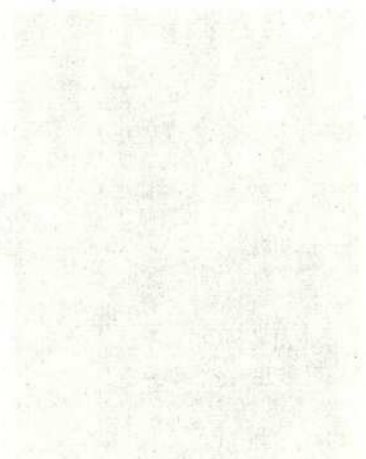
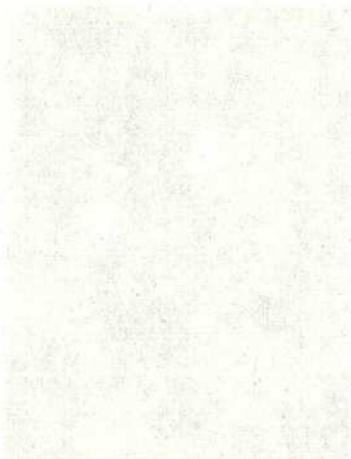
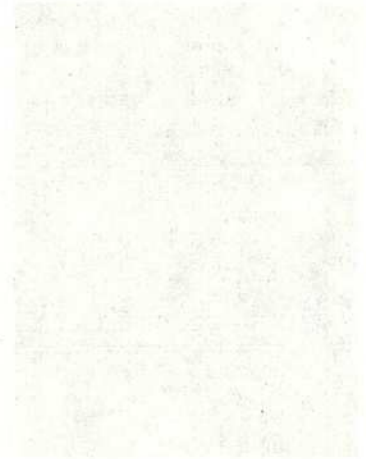
遊歩道の整備



土台づくり

土台板張り

土台完成



SYK 重利 夢 工房

しげとし め こう ば

まちなかにある 遊べる里山

親と子の木工教室

2022年

7月24日（日） 午前9:00 - 12:00

【場所】

重利夢工房の小屋（亀岡市曾我部町重利山ノ下）

【参加費】

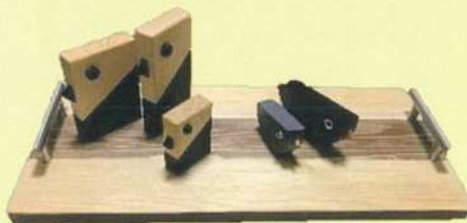
1 作品 500 円

【事前申し込み制】

先着 30 名

【申し込み先】

090-3677-1229 長瀬迄



SYK重利夢工房 会員募集中
「里山の自然に触れ、山の役目を知ってもらいたい」「地域の絆を深めたい」「非常時の役割を理解してもらいたい」そんな思いで運営しています。

【亀岡市支えあいまちづくり協働支援金】交付対象事業